



なぜ西山はジヌよさらばの撮影地選ばれたのか?

～かむろば村へ～

映画ジヌよさらばとは? その秘密を4つのキーワードで巡り解き明かす!!

この映画は、銀行勤めがたり、お金アレルギーになってしまった、お金に触れない主人公が、お金を全く使わずに生きて行こうと田舎暮らしを始める物語です。「ジヌ」とは物語中「お金」のことを指します。原作は「ぼのぼの」でおなじみの漫画家いがらしみきおさんの「かむろば村へ」。

主人公が越してきた村には、世話好きな村長（実は重い過去を持つ）、村の主のようなお年寄り（自他ともに認める神様）、など個性あふれる人々が登場し、現実と空想が入り交じった中、豊かな人情物語が展開されます。平成26年、西山地区は「主人公の越してきた村」として、この映画の主な撮影地となりました。

©2015 いがらしみきお・小学館/『ジヌよさらば～かむろば村へ～』製作委員会

あいべ、うちさ。
おかえり、心の故郷西山へ

心もほっこり温泉地 **西山** 散策のススメ
会津柳津

パンフレット製作：福島県柳津町立西山中学校
TEL：(0241)43-2243

キーワード1

懐かしく美しい日本の原風景

かむろば村との共通点①→景色や建物がスッソ!!



©いがらしみきお/小学館



<西山の風景>

西山中生の「写生会」での作品も名作ぞろい!



美しい景色の宝庫
糸念になる風景がゴロゴロ。

西山は自然と共存している地域といえます。昔ながらの木の梁と漆喰のコントラストの美しい住宅が数多く残されています。冬になると、まるで、世界的にも有名な版画家、齋藤清の描いた当時の「会津の冬」同様の景色が広がります。そんな西山でのんびり絵筆をとってみるのもいいですね。

キーワード2

ちょっと不思議な歴史ロマン

かむろば村との共通点②→歴史的遺物が西山の各地に点在!!



©いがらしみきお/小学館



<久保田三十三観音>



久保田三十三観音は
1818年の作。

文政元年、当時の三十三戸の村人が、健康や安産を願い、観音石像の造営にとりかかりました。

1月、230cmほどの見晴らしの良い山腹に、三十三体の観音石像が奉りられています。中には十字架を基にした通称「マリ観音」と呼ばれるものもあります。



<大塚沢・肥後首領の地蔵堂の様子>

この形の正体は?

キーワード3

豊かな出で湯

かむろば村との共通点③→豊富な源泉、ひっそり佇む必湯的な温泉旅館がある!!



©いがらしみきお/小学館



河原を少し掘っただけでも
温泉が湧き出る地。

西山は最大稼働時には10万世帯に電力を供給できるなど、地熱発電所としては日本一の出力を誇る「西山地熱発電所」を有しています。

温泉旅館も4軒あり、1つの旅館でもお風呂によって源泉が違っていたりと、湯巡りが好きな方にはもってこいの場所です。その他、公共の入浴・食事施設「山村公園 せいでん荘」があります。

キーワード4

地元ならではの食・心あたたまるおもてなし

かむろば村との共通点④→季節の山菜料理・とれたて野菜と家庭的なおもてなし!!



©いがらしみきお/小学館



西山には親切な人がいっぱい。
西中生も地元のおさを伝えていきます。



なぜ西山は ジヌよさらば の撮影地に選ばれたのか? >>> 西山は実存する「かむろば村」だった!!

西山観光MAP 88

1 「ジヌよさらば」撮影地

2 久保田三十三観音

3 久保田の棚田

4 地熱発電所PR館

5 山村公園 せいぜん荘

6 博士山の林道

7 ツムジクラ滝

8 大成沢地区の地蔵堂

9 温泉掘りの様子

10 西山温泉

西山はこう巡ろう! 西山満喫オススメプラン

9:00	磐梯自動車道 会津坂下・柳津IC	
9:25	25分	
9:55	17 撮影地(夕の家) 見学(20分)	
10:15	15分	
10:30	18 久保田三十三観音 参拝(30分)	
10:30	0分	
10:30	19 久保田の棚田 散策(10分)	
10:40	10分	
11:00	20 西山地熱発電所PR館 見学(35分)	
11:35	10分	
11:45	21 山村公園せいぜん荘 入浴・食事(75分)	
13:00	30分	
13:30	22 博士山林道散策 散策(30分)	
14:00	15分	
14:15	23 ツムジクラ滝 見学(10分)	
14:25	15分	
14:40	24 大成沢地区地蔵堂 参拝(10分)	
14:50	20分	
15:10	25 滝谷川河原 温泉掘り体験(50分)	西山ならではの体験です
16:00	5分(徒歩)	
16:05	26 西山温泉 入浴・宿泊	

さらに注目! NISHIYAMA CORPORATION

その1 「し」ストラップ

西山の地蔵堂で見られる三角形と連ねた伊弉諾「し」と呼ばれる、子と母の絆や成長と勇気、子と母の3のつく年齢には、時にあふんしい「し」もの。現在では、その名称と知るかや、作り手が高齢化し、伝統が途絶えつつある。それを現代風のストラップ(お守り)にし、西山の土産物として販売すること、地域の活性化と伝統の継承をとおし、地域の方、西山中学生が共同で制作。温泉旅館などでの販路が決定している。

その2 無農薬野菜

西山の豊かな自然と生かして「西山」の知名度を高めようと、中学生が無農薬で野菜を栽培。ほうろ、いんげん、ミニトマト、アヲ、かぼち、さつま芋、もも、とろろ、西山中から「し」として、今夏〜林にかけて道の駅「清柳苑」を中心に販売した。

